

福島復興再生特別措置法
産業復興再生計画・重点推進計画等の
進捗状況について



平成26年3月26日
福島県 商工労働部

進捗の状況

- 福島特例通訳案内士資格研修会を実施
- 口述試験合格者は、福島特例通訳案内士として登録

受講者 77人
合格者 44人



研修会の概要

○研修概要

- ・平成25年12月7日～平成26年3月2日、郡山市等

○研修内容

- ・地理・歴史、接遇、旅程管理、
実地研修、語学等
(8科目、16回実施)

○受講者

- ・77人



研修会

試験の概要

○試験(面接による口述試験)

- ・3月15日(土)、16日(日)、郡山市

○合格者(3月19日(水)発表)

- ・受験者 54人(うち1名は2ヶ国語受験)
- ・合格者 44人
(英語 41人、韓国語 2人、中国語 2人)

○登録・業務開始

- ・県の名簿に登録→業務開始



今後の事業展開

- 平成26年度も、同様の研修会を実施
- 合計200名の通訳案内士の育成を目指す



お問い合わせ先

県庁 観光交流局 観光交流課

Tel: 024-521-7286

Fax: 024-521-7888



進捗の状況

- モモ、リンゴ、リンドウについて、品種登録出願が受理され、新品種の名称を公募により決定
- アスパラガスなど、計画に位置づけた他の品目も、鋭意開発中

平成26年2月12日公表

(水稲、イチゴ、モモ、リンゴ、ナシ、カラー)

モモ: ふくあかり

○命名の理由

- ・盛夏を告げる福島の明かり

○特性

- ・収穫期が
7月下旬
- ・大果な早生種



リンゴ: 会津あかね

○命名の理由

- ・会津の美しい夕焼けの茜色

○特性

- ・秋冷で深まる
濃紅色
- ・甘い芳香



リンドウ: ふくしま凜夏

○命名の理由

- ・夏に咲く凜とした花

○特性

- ・開花期が
極めて早い
- ・栽培しやすい



今後の事業展開

- 計画に記載の水稲やイチゴ、ナシ、カラーも品種開発中
- アスパラガスについて、間もなく品種登録出願予定
- モモ2系統、リンゴ1系統について、H26年度内に品種登録出願予定

・春の萌芽が早い
・若茎が太く、
収量も多い

大果で甘い

「ふじ」より遅い収穫期で、酸味と甘味のバランスが良い

お問い合わせ先

県庁 農林水産部 農林企画課

Tel: 024-521-8027

Fax: 024-521-7944



商品等需要開拓事業(法54条)

<更新登録>

①南郷トマト

会津みなみ農業協同組合
平成29年1月5日更新



②土湯温泉

土湯温泉旅館事業協同組合
平成29年1月12日更新



③会津みそ

会津味噌協同組合
平成30年3月28日更新



④大堀相馬焼

大堀相馬焼協同組合
平成32年1月22日更新



<新規出願>

⑤会津田島アスパラガス

会津みなみ農業協同組合
平成27年度の出願予定



福島特定埠頭運営事業 (法第62条)

○小名浜港5・6号ふ頭地区、7号ふ頭地区、東港地区の一体的貸付け手続き

平成25年10月28日 港湾計画の変更

平成26年 2月20日「特定埠頭運営事業」の周知(HP)

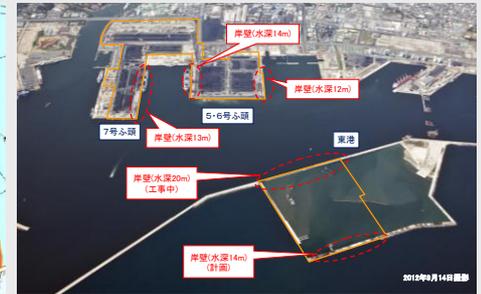
3月7日 小名浜埠頭株式会社より申請

3月10日 縦覧(2週間)

→ 国土交通大臣の同意(予定)

貸付契約(予定)

小名浜港「特定貨物輸入拠点港湾」指定
(平成25年12月19日、全国初)



お問い合わせ先

県庁 観光交流局 県産品振興戦略課

Tel: 024-521-7296 Fax: 024-521-7888

お問い合わせ先

県庁 土木部 港湾課

Tel: 024-521-7497 Fax: 024-521-7716



重点推進計画 第二章1 再生可能エネルギーに関する重点的な取組

新技術開発への支援

○次世代技術開発事業

→藻類バイオマスや水素キャリアなど、4件の技術開発を支援

○地域イノベーション戦略支援プログラムを活用した県内4大学の連携

→次世代太陽光発電や地中熱利用システムなど研究開発から事業化に向けた取組

藻類バイオマス



水素キャリア



地中熱



ネットワーク形成、販路拡大

○再エネ関連産業推進研究会

H24設立時350会員→486会員(H26.2)
太陽光、風力等に関する分科会を開催

○再エネ産業フェア

「REIFふくしま」(H25.11)

153団体が出展(うち海外8ヶ国)

○ドイツNRW州等との

連携に関する覚書を締結(H26.2)



REIFふくしま2013



NRW州との覚書締結

浮体式洋上風力発電実証研究事業

浮体式洋上風力発電システムの安全性、信頼性、経済性を検証。研究開発等の拠点を形成し、風力発電関連産業の集積を目指す。

場所	広野・楢葉沖
完成	平成25年11月11日より運転開始

<進捗状況等>

[第一期](H23~H25)

構想 設計 着工 供用

H25.7: 2,000kWの浮体式風車「ふくしま未来」(全高122m)と浮体式洋上変電設備「ふくしま絆」を設置

H25.11: 運転開始

[第二期](H26~H27)

7,000kWの浮体式風車(全高約200m)2基を整備予定。



運転開始!

広野・楢葉沖 提供: 福島洋上風力コンソーシアム

福島再生可能エネルギー研究所

(独)産業技術総合研究所が、再生可能エネルギーの研究開発拠点を整備。

場所	郡山市(郡山西部第二工業団地)
完成	平成26年4月予定

<進捗状況等>

構想 設計 着工 供用

H24.12: 建設工事に着手
H26. 3: 県と連携協定締結
H26. 4: 開所予定



イメージ
4月開所!

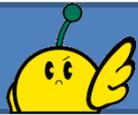
郡山市 提供: (独)産業技術総合研究所

開所に先立ち、県内6企業との連携による技術開発がスタート

お問い合わせ先

県庁 商工労働部 産業創出課

Tel: 024-521-8286 Fax: 024-521-7932



医療機器開発支援

○医療現場ニーズに基づく

医療機器の研究開発・実証

・ロボットスーツの開発など35件が採択



○BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)や

手術支援システムの開発・実証

・世界的に先端的な医療機器開発2件が採択



○革新的な医療機器の開発実証

・医師主導治験による

誘導型カプセル内視鏡の開発など、4件が採択



(仮称)医療機器開発・安全性評価センター

医療機器の開発から事業化までの一体的な支援を行うため、大動物を活用した安全性評価や医療従事者の機器操作トレーニング等を実施する拠点を整備。



場所 郡山市(旧農業試験場跡地)

完成 平成28年早期の開所を目指す

<進捗状況等>

構想 設計 着工 供用

H25~26: 基本設計・実施設計

H26~27: 建設工事等

H28: 早期の開所を目指す

国内外への販路拡大

○「メディカルクリエイションふくしま」

221企業・団体が出展、3,384人入場

○世界最大の医療機器展示会

「メディカ」出展 (県内8企業)



○ドイツNRW州等との地域間交流

ふくしま国際医療科学センター

将来にわたり県民の健康を守るため、放射線医学に係る最先端の研究・診療拠点を整備。

場所 福島市(県立医科大学)

完成 平成27年度末に一部供用開始予定

<進捗状況等>

構想 設計 着工 供用

H25: 実施設計等

H26~27: 建設工事等

H27: 年度末に一部供用開始を目指す



<5つの機能>

①放射線医学県民健康管理センター

②先端臨床研究センター

③先端診療部門

④教育・人材育成部門

⑤医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター

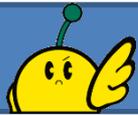
→治療薬・診断薬の開発と産学官共同研究



お問い合わせ先

県庁 医療関連産業集積推進室

Tel: 024-521-8568 Fax: 024-521-7932 5



重点推進計画 第二章3 その他先導的な施策

福島県環境創造センター

放射性物質により汚染された環境を早急に回復し、県民が将来にわたり安心して暮らせる環境を創造するための研究拠点を整備

三春町施設		南相馬市施設	
モニタリング、調査・研究、情報収集・発信、教育・研修・交流機能を担う施設		原子力発電所周辺のモニタリング、安全監視機能を担う施設	
場所	三春町(田村西部工業団地)	場所	南相馬市(萱浜ニュースポーツ広場)
完成	平成27～28年度 供用開始予定	完成	平成27年度 供用開始予定
<進捗状況等>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 構想 設計 着工 供用 </div>			
H24～25: 基本設計・実施設計 H25～27: 建設工事等 H27: 一部供用開始予定 H28: 全面供用開始予定			

環境創造センター(三春町施設)の「交流棟」における展示テーマイメージ

福島モニタリングスクエア

知る

放射線ラボ

体験する

環境創造ラボ

環境創造シアター

未来を描く



(仮称)浜地域農業再生研究センター

避難地域等の営農再開・農業再生を図るための研究拠点を整備。

場所	南相馬市(萱浜ニュースポーツ広場)
完成	平成27年度開所予定
<進捗状況等>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 構想 設計 着工 供用 </div>	
H24: 基本構想 H25: 基本計画 H26: 建設工事等 H27: 年度中の開所を目指す	

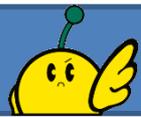


会津大学復興支援センター(先端ICTラボ)

先端ICT研究を推進し、新たなICT産業を創出するとともに、研究開発環境を整備し、ICTを活用した地域産業振興を担う企業の集積や人材育成に取り組む。

場所	会津若松市(会津大学)
完成	平成27年供用開始予定
<進捗状況等>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 構想 設計 着工 供用 </div>	
H25: 基本設計・実施設計 H26: 建設工事等 H27: 供用開始予定	





重点推進計画 第三章 迅速・確実な実施を確保するための措置

進捗の状況

- 中小機構の工場用地の無償譲渡(四倉、相馬)
- 企業立地補助金、復興特区を活用した立地促進



譲渡手続き完了
新・増設102件

いわき四倉中核工業団地

(法第73条)

面積: 409,351.17㎡

(独)中小企業基盤整備機構の持ち分 2/3

→ **県へ無償譲渡**

(平成25年7月10日移転登記)



相馬中核工業団地

面積: 304,727.65㎡

(独)中小企業基盤整備機構の持ち分 100%

→ **相馬市へ無償譲渡**

(平成25年7月10日移転登記)



ふくしま産業復興企業立地補助金

- ・平成25年12月現在、**380社**を指定
- ・雇用創出見込み人数 **4,614人**

パルプ・紙・紙加工品製造



福島市

新設

太陽光関連部品製造



須賀川市

新設

工場新增設の状況

- ・平成23年 52件
- ・平成24年 102件 (前年比 96.2%増)
- ・平成25年 **102件**

電気機械器具製造



南相馬市

増設

医薬品原薬製造



広野町

増設

復興特区の状況

- ふくしま産業復興投資促進特区 (平成26年2月末現在) **指定特例件数 723件**
- 復興特区支援利子補給金 **雇用予定数 26,966人**
- 計画認定件数 30件**

お問い合わせ先

県庁 商工労働部 **企業立地課**
Tel: 024-521-7916
Fax: 024-521-7935



福島特措法、復興特区による課税の特例等の状況

福島復興再生特別措置法

避難解除区域等が対象

課税の特例(法人税・所得税、地方税)

福島特措法の課税特例

(平成25年5月10日、法一部改正※)

事業者の帰還・事業再開による
新增設・雇用促進
(※解除準備区域へも適用)

・確認特例件数 1,759件
(H26.3.12現在) (法第26条、27条)

企業立地促進計画

※(平成25年6月10日提出)

避難解除区域等への
新規立地の促進

・認定件数 1件
(H26.3.13現在) (法第18条)

ふくしま産業復興 投資促進特区

(*福島特措法により全市町村が申請可)

○製造業: 区域拡充(777→1,279ヶ所)
(平成26年2月28日変更認定)

○農林水産業: 新設
(平成25年7月5日変更認定(いわき市))
(平成25年11月29日変更認定(その他52市町村))

製造業者等の
新增設・雇用創出等

・指定特例件数 723件
(法第37条、38条、39条)
・雇用予定数 26,966人
(H26.2.28現在) (法第38条)

農林水産関連産業の
集積・雇用創出等

・指定特例件数 9件
(法第37条、38条、39条)
・雇用予定数 171人
(H26.2.28現在) (法第38条)

ふくしま医療関連産業 復興特区

(平成24年3月16日認定)

医療機器の製造販売業等
の許可基準の緩和
(3年の実務経験→特別講習)

○平成24年度の特別講習
合格者 13社 17人
○平成25年度の特別講習
合格者 8社 14人
(法第35条)

復興特区支援 利子補給金制度

中核事業への資金支援
(支給期間:5年)
(利子補給率:0.7%以内)

・計画認定件数 30件
(H26.2.13現在) (法第44条)

東日本大震災復興特別区域法

県内全域が対象

規制の特例

資金支援